



令和7年度共同募金運動 実績報告

69,870,068円

令和7年度も10月1日から全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施され、12月1日からは「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をテーマに歳末たすけあい募金運動が実施されました。

物価高騰など非常に厳しい社会情勢の中でも多くの皆さまにご協力いただきましたことを心より御礼申し上げます。



赤い羽根共同募金(一般募金)実績額 54,924,728円

【募金期間:令和7年10月1日~12月31日】

赤い羽根共同募金は、集まった募金の約8割が久留米市内で、残りの約2割が福岡県内や事務費として活用されています。

約8割

※久留米市内で活用

約2割

※福岡県内や事務費として活用

- ボランティア団体への補助等 **2,996,000円**
- 校区の福祉活動への補助等 **36,385,000円**
- 久留米市社協広報事業等 **2,904,170円**

- | 広域配分 | 金額 |
|--------------|-------------------|
| ● 県内入所福祉施設等へ | 6,026,726円 |
| ● 災害等準備積立金 | 2,096,102円 |
| 事務費 | 金額 |
| ● 校区分会募金推進費 | 2,710,000円 |
| ● 支会事務費 | 1,806,730円 |



久留米市は校区コミュニティ組織で募金活動を行っており、各校区で集められた募金の半分は、翌年にその校区の福祉活動に活用されています。

見守り訪問活動・いきいきサロン・子どもと高齢者の交流事業など、共同募金を活用した活動は様々です。

その他、久留米市内で活動されているボランティア団体への支援や、広報紙「くるめ福祉」などにも共同募金は活用されています。

また、残りの約2割は、福岡県内の福祉施設の車両や備品準備等に活用され、大規模災害が起こった際に被災者支援ができるよう、災害等準備金としても積み立てられています。

新たな取組みやってみました！



キックオフイベントの様子

久留米市支会では、10月1日にキックオフイベントとして、西鉄久留米駅とJR久留米駅の2か所で街頭募金活動を行いました。

今年度は現金での募金に加えて、二次元コードを読み込んで募金ができるようにしました。

また、キャッシュレスでも募金ができることを多くの方へ知っていただけるように努め、募金の増額につながるように今後も周知・啓発に取り組んでまいります。



募金箱と二次元コード